

情熱のコンチェルト

# オール・シベリウス

国内外を問わず高い評価を受けている若き天才ヴァイオリニスト「周防亮介」を迎え、張り詰めた冷たい風を感じさせる「シベリウス」の名曲を堪能できるコンサート。

交響詩「フィンランディア」作品26

Tone-poem 'Finlandia' op.26

ヴァイオリン協奏曲 ニ短調 作品47

Violin Concerto in D minor, op.47

交響曲第2番 ニ長調 作品43

Symphony No.2 in D major, op.43

【ヴァイオリン】周防 亮介

【指揮】浮ヶ谷 孝夫

【管弦楽】東京21世紀管弦楽団

周防 亮介

@JUNICHIRO MATSUO

2024. **10.5** (土) 14:00開演(13:00開場) ザ・ヒロサワ・シティ会館 大ホール

S席 / 5,000円 A席 / 4,000円 学生席(大学生以下) / 1,000円

発売日 6/19(水)10:00~

※未就学児入場不可 ※学生席の販売はザ・ヒロサワ・シティ会館のみの取扱いになります。 ※全て税込

チケット取扱い いばらき文化振興財団webチケット / ザ・ヒロサワ・シティ会館チケット窓口 / ノバホール チケット窓口  
京成百貨店4Fプレイガイド / チケットぴあ:Pコード 272611 / e+イープラス: <https://eplus.jp>で検索

お問い合わせ 公益財団法人いばらき文化振興財団 ☎029-350-3533(電話 9:00 ~ 17:00 平日のみ) 〒310-0851 茨城県水戸市千波町東久保697

主催:公益財団法人いばらき文化振興財団 公益財団法人日本交響楽振興財団 共催:ザ・ヒロサワ・シティ会館指定管理者 県民文化センター運営共同事業体

KEIRIN  
00 競輪の補助事業

この演奏会は、競輪の補助を受けて開催します。

<https://jka-cycle.jp>



# Profile

[ヴァイオリン] 周防 亮介 Ryosuke Suho, Violin



© JUNICHIRO MATSUO

1995年京都府生まれ。7歳よりヴァイオリンを始める。

2016年ヘンリック・ヴィエニャフスキ国際ヴァイオリンコンクール入賞及び審査員特別賞を受賞。

2009年クロスター・シェンタール国際ヴァイオリンコンクール第1位および2つの特別賞(ヴィルティオーゾ賞、全部門の最高演奏者に贈られるEMCY賞)、2010年ダヴィッド・オイストラフ国際ヴァイオリンコンクール最高位およびスポンサー特別賞を受賞。また2011年東京音楽コンクール第1位及び聴衆賞、2012年日本音楽コンクール第2位及び聴衆賞を受賞するなど、数々のコンクールで優勝や入賞の実績を持つ。また2015年「第25回出光音楽賞」、2016年「第25回青山音楽新人賞」、2018年「大阪文化祭奨励賞」を受賞。

12歳で京都市交響楽団との共演を皮切りに、パリ管弦楽団、フランス国立管弦楽団、フランス放送フィルハーモニー管弦楽団、パリ国立歌劇場管弦楽団、ボズナンフィルハーモニック管弦楽団、サンクトペテルブルク国立アカデミー管弦楽団、シュトゥットガルト室内管弦楽団、ブラハ室内管弦楽団、アマデウスポーランド放送室内管弦楽団、NHK交響楽団、読売日本交響楽団、東京都交響楽団、日本フィルハーモニー交響楽団、新日本フィルハーモニー交響楽団、東京交響楽団、東京フィルハーモニー交響楽団、東京シティ・フィルハーモニック管弦楽団、名古屋フィルハーモニー交響楽団、日本センチュリー交響楽団、関西フィルハーモニー管弦楽団、兵庫芸術文化センター管弦楽団、九州交響楽団、アンサンブル金沢、横浜シンフォニエッタなど、数多くの国内外のオーケストラと共演。また15歳で初リサイタルをおこない、清水和音や江口吟、上田晴子など第一線で活躍するピアニストと共演を重ねる。2023年1月には、サントリーホールにて「無伴奏ヴァイオリン・リサイタル」を開催するなどその活躍は目覚ましい。

その他、「題名のない音楽会」、NHK-FM「リサイタル・ノヴァ」、「ベストオブクラシック」などのメディアへの出演も多い。CDはオクタヴィア・レコードより4枚のアルバムがリリースされている。2017年にヘンリック・ヴィエニャフスキ国際ヴァイオリンコンクールの入賞記念としてファーストアルバム『Souvenir』を、2021年に初のコンチェルトアルバム『チャイコフスキー&メンデルスゾーン:ヴァイオリン協奏曲』を発売し好評を博した。また、最近の無伴奏アルバム『ブラヴィッシモ』『バガニーニ:24のカプリース』は、レコード芸術誌で特選盤となる。

これまでに岡本智紗子、岩谷依子、小栗まぢ絵、大谷康子、原田幸一郎、神尾真由子各氏に師事。東京音楽大学特別特待奨学生としてアーティスト・ディプロマコースで学ぶ。在籍中にロームミュージックファンデーションの奨学生にも選ばれる。東京音楽大学を修了後、江副記念リクルート財団奨学生として、メニューイン国際音楽アカデミーに留学。マキシム・ヴェンゲロフ氏、ルノー・カピュソン氏のもと研鑽を積んだ。使用楽器は宗次コレクションより貸与されている1678年製ニコロ・アマティ。

[指揮] 浮ヶ谷 孝夫 Takao Ukigaya, Conductor



1953年埼玉県川口市生まれ。世界の最前線でタクトを振る、日本を代表する指揮者の一人。1978年に渡独してベルリン芸術大学指揮科のヘルベルト・アーレンドルフ教授に師事。カラヤン、ハンガリー、両国際指揮コンクールで受賞。1986年にはボメラニアン・フィル(ポーランド)のドイツ演奏旅行の指揮者に抜擢され、欧州でデビューを果たす。1987年より、同オーケストラの専属指揮者に就任。多数のドイツ演奏旅行やCD録音で高い評価を得る。1989年より「北ドイツ放送ラジオフィルハーモニー・ハノーファー」と多数のCD録音。「ポーランド国立放送交響楽団」の専属客演指揮者。1996年に「ドイツ・フィルハーモニア・ウナリカ」日本ツアー。1999年に「北西ドイツ・フィルハーモニー」日本ツアー。2001年、2005年に「ブランデンブルグ国立管弦楽団フランクフルト」日本ツアー。2003年には「ブランデンブルグ国立管弦楽団フランクフルト」の首席客演指揮者に就任。2010年より愛知県豊橋市の「豊橋青少年オーケストラキャンプ」を立ち上げ、毎年多くの演奏家の育成に尽力。2013年より東京都主催「歴史的建造物保全プロジェクト・マエストロ浮ヶ谷プロデュースコンサート」を担当。N響、新日フィル、日フィル、東フィル、名フィル、東京シティフィル、東京ニューシティ、大阪センチュリーなどと共演し、多くのファンを持つ指揮者。2019年8月に東京21世紀管弦楽団の音楽監督に就任。ドイツ在住。

[管弦楽] 東京21世紀管弦楽団 Tokyo 21c Philharmonic



音楽を通して、多くの人達と手を携え、今までの固定観念にとらわれない新しい時代の「楽しいオーケストラ」を目指して演奏活動を進めて行くプロフェッショナルなオーケストラとして2019年に設立。

浮ヶ谷孝夫(ブランデンブルグ国立管弦楽団フランクフルト首席客演指揮者)を音楽監督に迎え、定期演奏会では、ベートーヴェン、ブラームス、ブルックナー、シューベルトといった重厚なドイツ音楽で圧倒的な成功を収めている。

また、青少年のための音楽鑑賞会の依頼公演に出演するほか、教育的活動にも積極的に参加し、多彩で幅広い音楽活動を展開している。クラシック音楽を広く普及させる自主公演、定期公演は東京芸術劇場を拠点とし、紀尾井ホール、サントリーホール、東京オペラシティコンサートホールなど都内の主要なホールで活動をしている。

2019年オスカー新人賞を受賞したテノールのステファン・ポップ、オペラ界のビッグスター、ファン・ディエゴ・フローレス、ヴィットリオ・グリゴロとの共演では好評を博した。2021年、オペラシティにて行われたベートーヴェン「第九」は、満席の聴衆を魅了し大成功を収めた。2022年第18回ショパン国際コンクール第3位入賞のマルティン・ガルシア・ガルシアとの協奏曲の夕べを展開するなど、積極的に若いアーティストとの共演の機会を作っている。同年8月東京国際フォーラムホールAで行われた「ラ・ラ・ランド」6回公演に出演し好評を博した。このほかミュージカル、バレエ、ポップスにも出演するなど活動の場を広げている。

公益財団法人いばらき文化振興財団

☎029-350-3533(電話 9:00 - 17:00 平日のみ) 〒310-0851 茨城県水戸市千波町東久保697

※ザ・ヒロサワ・シティ会館には専用駐車場はございません。お車をご利用のお客様は、千波公園・ザ・ヒロサワ・シティ会館前駐車場をご利用ください。なお駐車台数には限りがございますので、できるだけ公共交通機関の利用または乗り合いのご来店をお願いします。